

# イタリアンライグラス「タチサカエ」は 収量が多く、耐倒伏性が高い（飯舘村）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 阿武隈中山間地域におけるイタリアンライグラス収量向上の検討（飯舘村）

担当者 木村有希

## I 新技術の解説

### 1 要旨

飯舘村では、品質や嗜好性に優れるイタリアンライグラスを栽培する畜産農家が多いが、安定した収量を確保できる品種の導入が求められている。そこで、耐倒伏性に優れた県奨励品種「タチサカエ」と飯舘村で導入されている「ガルフ」の収量や倒伏を比較したところ、「タチサカエ」は収量が多く、耐倒伏性にも優れていることを明らかにした。

- (1) 「タチサカエ」の年間乾物収量は「ガルフ」より 450kg/10a 多く、3 番草まで刈取できた(図 1)。一方、「ガルフ」は 2 番草において葉枯れが見られ、刈取後に再生不良により 3 番草を刈り取ることができなかった。
- (2) 「タチサカエ」の倒伏程度は「ガルフ」より小さかった(表 1, 図 2)。
- (3) 葉腐病の発生は「ガルフ」では見られたが、「タチサカエ」では発生しなかった(表 2)。

### 2 期待される効果

- (1) 阿武隈中山間地域における効率的な牧草生産が期待される。

### 3 活用上の留意点

- (1) 倒伏や病害を防ぐために、基準量を適期播種し、収穫は適期に行う。
- (2) 今回の施肥量は基肥(kg/10a)：牛ふん堆肥 3,000、苦土石灰 100、ようりん 80、化成肥料 N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=5:10:5、追肥(kg/10a)：N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=10:10:10kg（早春施肥 50%、1 番刈り後 30%、2 番刈り後 20%を施肥）を施肥し、防除は行わなかった。

## II 具体的データ等

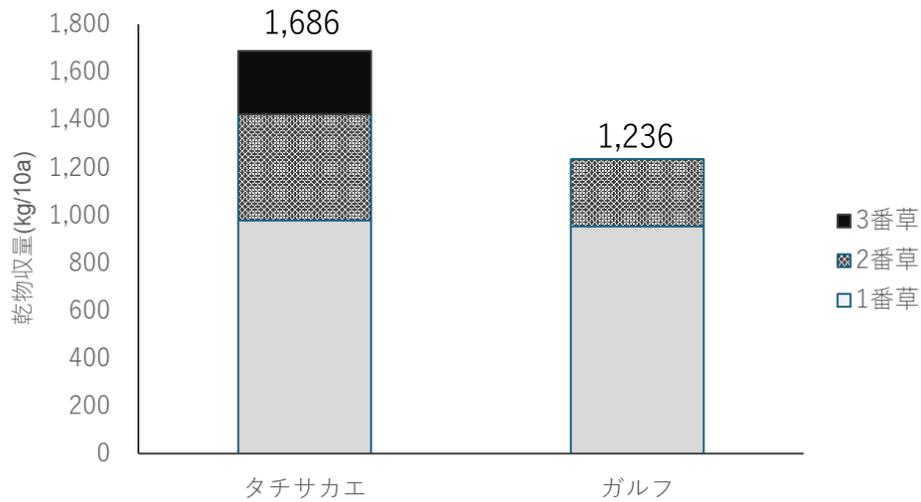


図1 各品種の乾物収量

表1 各品種の倒伏程度

品種	5月12日	6月23日
タチサカエ	3.7	4.7
ガルフ	8.0	8.3

※ 倒伏無しを1、中程度の倒伏を5、完全に倒伏した状態を9として評価した。

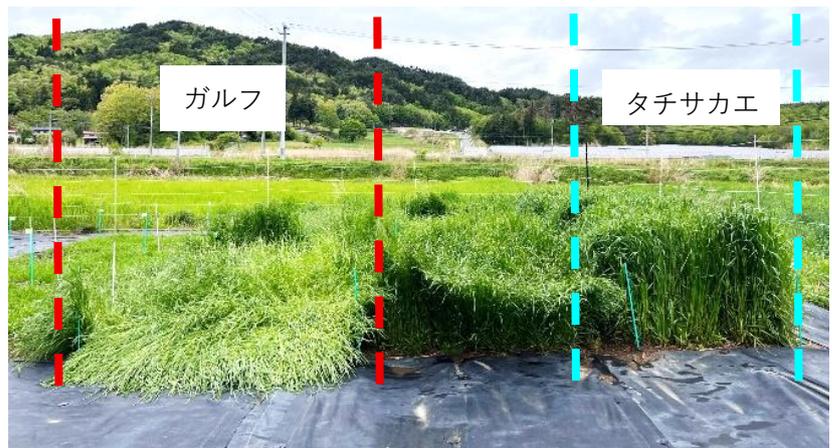


図2 各品種の倒伏程度 (2025年5月12日撮影)

表2 各品種の病害程度

品種	葉腐病
タチサカエ	1.0 (病害発生無し)
ガルフ	4.0

※ 6月に発生。病害発生無しを1、中程度の病害発生を5、病害による完全枯死を9として評価した。

## III その他

- 1 執筆者 木村有希
- 2 実施期間 令和7年度
- 3 主な参考文献・資料  
なし